

平成31年度施政方針

平成31年第1回南風原町議会定例会の開会にあたり、予算案をはじめとする各議案の説明に先立ちまして、私の町政運営に対する所信を申し述べ、町民の皆様はじめ、議員各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

はじめに

私は、未来へつなぐ「愛・夢・安らぎ」をスローガンに掲げ、平和な町づくり、教育文化の町づくり、福祉の町づくり、豊かな町づくり、住みよい町づくり、健康の増進とスポーツ振興、そして町民参加の町づくり、この7つの政策宣言を行い、町民皆様からのご信任をいただき、町政運営を付託され粉骨砕身の想いで職務に当たっています。

これらの政策に重点を置きながら、町の財政健全化への着実な取り組みを推進し、持続可能な財政基盤の確立に努めつつ、重要な政策課題には必要な予算措置を講じるなど、メリハリの効いた町政運営に努めてまいります。

今後とも町政運営に対するご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、平成31年度に実施する施策について、その骨子を申し述べます。

■^{こがねはえ}ともにつくる黄金南風^{さと}の平和郷について

「第五次総合計画」の将来像「ともにつくる黄金南風の平和郷」に向けて、地域社会への愛着と誇り、そして自ら責任を持って暮らす町民が、個々の思いを表し、意見を交わし、夢や目標を実現していく、そのようなまちづくりを目指して諸施策を展開します。

その基本理念の「平和」、「自立」、「共生」の実現については、世界の恒久「平和」を願う町民の心を内外へ発信する平和なまちづくりに取り組んでいくとともに、新たな時代の中で、「自立」した人々が育ち集う、地域力のあるまちづくり、そして、まちの様相が移り変わる中で、改めて自然との調和、人と人のつながりを大切に「共生」した暮らしを創造していくまちづくりを目指します。

■みんなで考え、みんなで創るわくわくするまちについて

協働のまちづくりを推進するため、多様な学びの場をとおして町民一人ひとりが共に考え、助け合い、支え合って創意と工夫で地域力を高め積極的にまちづくりに参画できるよう取り組みます。そのためにも地域活動の現状と課題を認識し、自治会との連携を図っていきます。

町民と行政の情報共有については、広報紙をはじめ町ホームページや電光掲示板等あらゆる手法を活用し、わ

かりやすく必要な情報を発信します。また、各種委員会等への住民参画を促し、引き続き町民の皆様のご意見が町政に最大限に反映される仕組みづくりに努めます。

■きらきらと輝く人が育つまちについて

子ども達の「生きる力」と主体的な行動を育てていくために、「家庭教育」、「ふるさと教育」、「学校教育」を通して、自ら考え、決め、行動できる人づくりを家庭と学校、地域が一丸となって取り組みます。

町民待望の学校空調設備の整備については、実施時期を前倒しし、今年度で幼稚園から小中学校までの全普通教室に設置を行い、快適な教育環境の整備を進めます。

幼稚園教育、保育については子どもを取り巻く環境の変化を踏まえた幼児教育の重要性を捉え、専任園長配置をはじめとする様々な事業を展開し、より一層の幼稚園教育及び保育の充実を図ります。

学校給食については、安全・安心な給食を提供し、健康づくりに努め、食育を推進します。

町民の生涯学習を推進するため、中央公民館や文化センターを文化活動や学習活動の拠点として活用し、幅広い年齢層が交流する機会の拡充を図ります。平和学習・交流・観光関連事業の推進については、沖縄陸軍病院南風原壕群の活用、「子ども平和学習交流事業」による小学生の派遣、「青少年の国際交流」による中学生のカナダ派

遣を実施します。

また、スポーツ振興については、黄金森公園施設を活用した、スポーツキャンプの誘致や全国高等学校総合体育大会の開催地として、広くスポーツ実践の機会を与えるとともに、町民への生涯スポーツ及び競技力向上の推進等、スポーツ振興に取り組みます。

■ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまちについて

子育てをしている保護者から高い評価をいただいている子ども医療費の現物給付については、本年度も引き続き実施します。保育所入所に係る待機児童対策については、90名定員の保育園2園の整備を行い、小規模保育園についても整備に向けて取り組みます。子どもの貧困対策については、引き続き子ども元気支援員2名の配置と居場所となる子ども元気ROOMの設置で、支援を必要とする子どもをしっかりと支え、子どもたちが健やかに育成されるよう取り組みます。

国民健康保険事業の運営については、国保税率改正について国保加入者への周知を図るとともに、県も保険者となり国保の財政運営の主体となったことから、連携して新制度の円滑な推進と国民健康保険の安定的な運営を目指して取り組みます。また、沖縄国保の財政状況の解決に向けては、引き続き沖縄の特殊事情に配慮した財政支援や制度設計の構築等を国へ要請し、県に対しても市

町村国保への支援を要請します。

町民の健康づくりについては、予防活動の充実を図り、妊娠期から高齢期まで生涯にわたる健康づくりを推進します。その取り組みとして、一括交付金を活用した学童期の生活習慣病予防の取り組みの継続及び子ども・子育て支援交付金を活用した妊産婦から子育て期までの切れ目のない支援の充実強化に取り組みます。

高齢者福祉、障がい者福祉については、「第8次南風原町高齢者保健福祉計画」、「第4次南風原町障がい者計画」に基づき、地域包括ケアシステムの充実や相談支援体制の強化を図り、社会参加や自立を支える支援体制を確立し、町民がともに支えあう共生社会の実現を目指します。

■工夫と連携で産業が躍動するまちについて

住宅リフォーム支援事業については、引き続きバリアフリー改修工事、省エネルギー改修工事及び耐久性向上改修工事への支援を実施します。

農業振興については、農地の有効活用を推進し、農地の保全や土壌改良・地力増強を促進するための土づくり奨励補助を継続します。拠点産地であるかぼちやの増産支援のためのミツバチ巣箱設置や花粉交配用品種の導入などの助成を実施するとともに、新規就農一貫支援事業の活用による生産農家を支援し、農業経営基盤の強化に努めます。また、付加価値の高い農産物の生産や出荷体

制の強化が図られるよう、関係機関との連携を行い、販路拡大に向けた取り組みを支援することで農業経営の振興を図ります。

担い手育成などについては、町農業委員会の農地利用最適化推進委員、JAおきなわ、農地中間管理機構と連携し耕作放棄地や遊休農地を解消し、農地の確保・集積を行うとともに、農業次世代人材投資資金交付金の給付等により、新規就農者等の農業の担い手育成に取り組みます。

基幹作物であるサトウキビ振興については、病虫害対策や種苗配布に対する補助等による生産振興を図ります。

花き振興については、新たな品目への取り組みの強化や導入支援に努めるとともに、ストレリチア立ち枯れ対策の強化を促進します。

畜産振興については、生産基盤の整備と経営の安定化を図るため、家畜公害・環境保全対策事業や家畜伝染病予防事業に取り組みます。

商工振興については、一括交付金を活用した「南風原町地域ブランド構築・展開プロジェクト」事業により、「はえばる良品」の認証、特産品の販路拡大に町商工会と連携し取り組みます。

中小企業小規模企業振興については、町内中小企業の経営基盤の強化、創業の促進が図られるよう支援するとともに、町商工会の強化や地域経済の活性化発展に努めます。また、先端設備等導入計画に基づき設備投資の支援や地方拠点強化、地域経済牽引事業を活用し本町への

企業立地の促進や支援を強化し、町民の雇用拡大を図ります。

伝統工芸産業振興については、「沖縄型産業中核人材育成事業」等による、デザインの技術習得、マーケティング強化、経営基盤の強化を図り、工芸品の価値を高めるための取り組みを行うとともに、販路の拡大等を琉球絣組合と連携し取り組みます。

観光振興については、観光協会と連携して観光施策の推進・振興に努めます。

■みどりとまちが調和した安全・安心のまちについて

急速な都市化が進展する本町にあって自然環境と共生するまちづくりは防災や地域経済の活性化にもつながる重要な要素です。地域と協働した防災・防犯体制の連携を図り、安全・安心のまちづくりに努めます。

また、道路事業については、町道10号線と町道73号線の事業進捗を図り、新たに照屋地内の町道68号線整備に向けて取り組みます。

街路事業については、津嘉山中央線・津嘉山中央線2工区の事業用地確保と津嘉山中央線の工事を併せて進めます。

公園事業については、黄金森公園の転落防止柵及び野球場のバックネットの取り替えと津嘉山公園の整備を進めます。

津嘉山北土地区画整理事業については、旧津嘉山ハイ
ツ区域の宅地造成等の整備に向けて取り組みます。

下水道事業の汚水整備については、津嘉山北土地区画
整理事業区域を重点地区として整備を促進し、併せて下
水道接続の普及活動を強化します。雨水整備では、引き
続き照屋地内の整備を進めます。

農業集落排水事業については、新たに神里地区汚水処
理施設の老朽化に伴う再整備に向けた施設の診断調査等
に着手し、併せて下水道接続の普及活動についても促進
します。

計画関係については、那覇空港自動車道南インター周
辺の市街地整備事業化に向けた取り組みとして、市街化
区域編入に係る調査、第5次総合計画土地利用構想との
整合を図る都市マスタープランの見直し等を進めます。
また、南風原町景観計画の公示、景観条例を策定し、202
0年の運用開始に向け取り組みます。

交通安全施設整備については、カーブミラーの設置や
横断防止柵の整備等を引き続き行います。

■環境と共生する美しく住みよいまちについて

住み良い住環境と循環型社会の実現に向け、ごみ処理
については、適正処理とともに、不要なものは断る、ご
みを減らす、再利用する、修理する再資源化を推進し、
ごみ減量化と資源化・再利用を促進します。

また、「はえばる版リサイクルループ」事業を中心に、町民、NPO、企業・事業所等との連携及び情報共有をおこないます。

沖縄の貴重な自然環境を残し、エコアイランド沖縄を目指すため、町民の具体的な活動への支援と環境意識の啓発を図ります。また、次世代を担う子どもたちへの環境教育・環境学習も重要なことから、「はえばるエコセンター」を活用した各種環境講座や学校との連携による環境学習支援事業を実施し、環境意識の高揚を図ります。また、公共施設等についても、「南風原町地球温暖化防止実行計画」に基づき省エネ対策を進め、温室効果ガスの排出抑制を推進します。

ごみの不法投棄等については、町内の不法投棄発生箇所を中心にパトロールを行うとともに、立て看板等を設置し対策に取り組みます。

町民の生活に密接した悪臭、騒音、水質汚濁、振動等の公害問題については、各関係機関と連携し生活環境の保全に努めます。

■健全な行財政運営について

将来にわたり、安定した行政運営を行うため、平成30年度を初年度とした「中期財政計画」を基に取り組みましたが、国保会計の累積赤字、後年度の財政負担の見込増による情勢等の変化が生じたことにより、本計画を行政

改革検討委員会において見直します。

また、安定的で健全な財政構造を構築する必要から、より一層高いコスト意識を持って経費全般にわたる縮減合理化を図り、負担の公平性を保ちながら、限られた行政資源を「効率的で効果的に」活用し、持続可能な財政基盤の確立に取り組みます。

高度化・多様化する町民ニーズや新たな行政課題に迅速かつ的確に対応するため、南風原町職員人材育成方針に基づく人材育成を推進します。

■ 予算編成について

平成31年度の予算編成については、第五次総合計画に掲げた「ともにつくる黄金南風の平和郷」の実現を目指し、引き続き一括交付金の活用に工夫を凝らし、積極性を失わずに実効性を担保する経費の確保を念頭に置きつつ、過去に例を見ないほど非常に厳しい財政状況から、「選択と集中」による予算編成を行いました。

今後も引き続き、子育て支援・教育の充実を図り、福祉向上、産業振興等、町民ニーズに応えた事業を実施し、「南風原町に住んで良かった」「南風原町にずっと住み続けたい」、そう思っていただけのような町づくりに、誠心誠意取り組みます。

平成31年度の各会計予算編成の内訳は、

| | |
|-------|--------------|
| 一般会計 | 13,130,363千円 |
| 特別会計 | 5,608,420千円 |
| 全会計合計 | 18,738,783千円 |

となります。

おわりに

以上、平成31年度の町政運営についての考え方と主要施策の概要などについて述べました。

予算以外の審議案件として議案4件、また、追加議案として数件提出する予定です。平成30年度補正予算の議案については、先議案件とさせていただき議員各位の慎重なるご審議の上、議決を賜りますようお願い申し上げます。

平成31年3月4日

南風原町長 赤 嶺 正 之